

総合評価方式の平成20年度の試行結果について

対象工事…平成20年4月～21年3月まで契約分

項 目	H19(参考)			H20				備 考	試 行 結 果
	簡易型	標準型	計	特別簡易型	簡易型	標準型	計		
試行件数(件)	67	17	84	172	176	34	382		
低入札価格調査制度適用	65	17	82	164	161	23	348		
施工体制事前提出方式	2	0	2	8	15	11	34		
落札率(%)									・総合評価方式と条件付一般競争入札と比べると、平均落札率は同程度である。
平均	82.24	80.60	81.91	82.73	83.62	84.20	83.27		
最大	100.00	93.26	100.00	99.28	99.93	91.31	99.93		
最小	70.21	74.21	70.21	73.29	75.83	79.29	73.29		
※条件付一般競争入札の平均			82.33				83.26		
平均落札率(%)									・施工体制事前提出方式の方が、平均落札率はやや高い。
低入札価格調査制度適用	82.11	80.60	81.79	82.55	83.41	84.51	83.08		
施工体制事前提出方式	86.49	—	86.49	86.39	85.87	83.55	85.24		
入札参加者数(者)									・平均入札参加者数は、条件付一般競争入札と比べて少ない。
平均	6.5	6.7	6.5	5.6	5.0	6.1	5.4		
最大	17	14	17	18	16	22	22		
最小	1	2	1	1	1	1	1		
※条件付一般競争入札の平均			6.7				8.0		
平均入札参加者数(者)									・施工体制事前提出方式の方が、入札参加者は少ない。
低入札価格調査制度適用	6.5	6.7	6.5	5.6	5.2	6.6	5.4		
施工体制事前提出方式	7.0	—	7.0	5.2	3.8	5.4	4.6		
加算点(点)	簡易(10点)	標準(20点)	標準(30点)	特別簡易(10点)	簡易(30点)	標準(50点)			・加算点の平均値は、満点の半分程度である。
平均	4.5	8.8	13.9	6.3	15.6	22.7			
最大	9.1	18.8	26.3	10.0	28.0	49.4			
最小	0.5	1.1	1.1	0.0	0.0	3.0			

総合評価方式の平成20年度の試行結果について

対象工事…平成20年4月～21年3月まで契約分

項目	H19(参考)			H20				備考	試行結果
	簡易型	標準型	計	特別簡易型	簡易型	標準型	計		
価格逆転件数(件)								・価格が1位以外で落札者となった案件。	・逆転件数割合は半分程度である。 ・特別簡易型の逆転割合が最も低い。
件数	14	9	23	76	100	25	201		
逆転件数/試行件数(%)	20.9%	52.9%	27.4%	44.2%	56.8%	73.5%	52.6%		
落札者の状況(件)	67	17	84	172	176	34	382	} 181件 304件	・価格、加算点とも1位の工事は146件で、割合は38%である。 ・価格が1位の工事は181件で、割合は47%である。 ・加算点が1位の工事は304件で、割合は80%である。
価格:加算点=1位:1位	37	6	43	73	64	9	146		
価格:加算点=1位:2位以下	16	2	18	23	12	0	35		
価格:加算点=2位以下:1位	11	9	20	60	74	24	158		
価格、加算点ともに1位以外	3	0	3	16	26	1	43		
評価基準価格を下回った件数(件)								・入札額が評価基準価格を下回った場合、入札額ではなく評価基準価格で評価する。	・基準価格設定型適用件数の割合は44%であり、H19よりやや高い。 ・落札者逆転割合は約20%であり、H19と同程度である。
件数	16	10	26	68	79	21	168		
件数/試行件数(%)	29.6%	62.5%	37.1%	39.5%	44.9%	61.8%	44.0%		
うち落札者逆転	4	2	6	25	5	2	32		
落札者逆転件数/件数(%)	25.0%	20.0%	23.1%	36.8%	6.3%	9.5%	19.0%		
低入札価格調査の対象件数(件)								・低入札対策として配置技術者の複数配置等を義務づけているが、対応困難の場合、落札者決定前の辞退を認めている。	・低入札価格調査対象の発生割合は、H19より低下している。 ・調査を実施して契約した案件の発生割合は、H19より低下している。
基準を下回った低入札案件	15	7	22	29	24	4	57		
低入札件数/対象件数(%)	23.1%	41.2%	26.8%	17.7%	14.9%	17.4%	16.4%		
失格基準該当				10	5	1	16		
辞退				8	3	0	11		
低入札調査実施	15	7	22	17	18	3	38		
低入札調査で失格	0	0	0	0	3	0	3		
調査を実施して契約した割合(%)	100.0%	100.0%	100.0%	58.6%	62.5%	75.0%	61.4%		

総合評価方式の平成20年度の試行結果について

対象工事…平成20年4月～21年3月まで契約分

項目	H19(参考)			H20				備考	試行結果	
	簡易型	標準型	計	特別簡易型	簡易型	標準型	計			
失格基準に該当した工事件数(件)									<ul style="list-style-type: none"> ・失格基準に該当し、失格者の出た工事の割合は、約12%である。 ・失格になる割合は、特別簡易型が多い。 	
低入札価格調査制度	/	/	/	26	10	2	38			
施工体制事前提出方式	/	/	/	1	6	2	9			
上記合計	/	/	/	27	16	4	47			
上記合計/試行件数(%)	/	/	/	15.7%	9.1%	11.8%	12.3%			
評価項目毎の入札参加者得点割合(%)								○配点は簡易型の例(30点満点)		
企業の技術力	施工能力(1点)	76%	36%	67%	78%	80%	79%	79%	<ul style="list-style-type: none"> ・施工能力、工事成績、品質管理の得点割合が高い。 	
	工事成績(1点)	75%	59%	71%	67%	76%	74%	72%		
	優良工事(1点)	27%	34%	28%	10%	18%	22%	15%		
	品質管理(1点)	70%	89%	74%	/	67%	90%	72%		
	技術者確保数(1点)	45%	40%	44%	/	42%	43%	42%		
	技能士(0.5点)	/	/	/	/	12%	7%	11%		上記で得点できない場合
	○H20小計(5点)									
配置技術者の技術力	施工能力(1点)	40%	15%	35%	/	52%	60%	54%	<ul style="list-style-type: none"> ・評価方法の変更に伴い、資格保有年数の得点割合は、H19より高まった。 	
	工事成績(1点)	50%	42%	48%	/	41%	35%	40%		
	資格保有年数(1点)	18%	27%	20%	/	62%	70%	64%		H19:20年 H20:10年
	優良工事(1点)	10%	13%	11%	/	5%	6%	5%		
	○H20小計(4点)									
企業の地域社会に貢献する	障がい者雇用(0.5点)	20%	34%	22%	/	30%	42%	32%		
	安全管理(0.5点)	48%	74%	52%	/	40%	60%	44%		
	環境配慮(0.5点)	12%	28%	16%	/	16%	36%	20%		

総合評価方式の平成20年度の試行結果について

対象工事…平成20年4月～21年3月まで契約分

項目	H19(参考)			H20				備考	試行結果
	簡易型	標準型	計	特別簡易型	簡易型	標準型	計		
企業の地域社会に対する貢献度	県内業者活用(1点)					94%	58%	87%	<p>・県内業者活用、本店等所在地、同一市町村実績、ボランティア、除雪・維持補修、災害出動など、地域貢献に関する項目の中には、得点割合の高いものがある。</p> <p>・標準型は、2億円以上の工事が対象で、県外業者の参加が多いため、地域貢献の得点割合が低い。</p>
	本店等所在地(1.5点)	83%	55%	77%	87%	84%	51%	82%	
	同一市町村実績(1点)				83%	78%	53%	78%	
	ボランティア(2点)	65%	46%	61%	64%	75%	52%	68%	
	子育て応援(0.5点)	12%	22%	14%		10%	12%	10%	
	仕事と生活の調和(0.5点)					40%	44%	41%	
	新分野(1点)	16%	32%	20%		27%	31%	28%	
	除雪・維持補修(1点)				65%	70%	34%	64%	
	災害出動(1点)				63%	69%	48%	64%	
	○H20小計(11点)								
施工計画	施工計画(10点)	4.0点	4.0点	4.0点		4.3点	4.1点	4.3点	入札参加者平均得点
	○H20小計(10点)								
標準型	技術提案(10点又は20点)		4.7点(1項目10点)	10.2点(1項目20点)			7.9点(1項目10点)	11.5点(1項目20点)	入札参加者平均得点
平成二一年度実施方針	<p>1 公共工事の品質確保を図るため、対象件数を大幅に拡大した。</p> <p>2 特別簡易型の対象を拡大し、価格以外の要素を適切に評価するため、加算点を高めた。</p> <p>3 技術力に関する評価項目を追加するとともに、地域の雇用確保や安全安心を担う地元企業を適切に評価するため、地域貢献の評価割合を高め、評価項目や配点を見直した。</p> <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別簡易型の加算点(最大値)を10点から20点に高めた。 ・簡易型の加算点(最大値)を30点から35点に高めた。 ・標準型の加算点(最大値)を50点(又は70点)から55点(又は75点)に高めた。 ・継続教育(CPD)の取り組み状況、消防団への継続参加、災害応援協定締結実績を新たな評価項目とした。 ・地域貢献の評価対象地域を地域要件毎に設定した。 ・ボランティア活動については、地元企業の継続的な活動を評価することとした。 								